

# 深川高等学校 令和5年度 教科 地理歴史 科目 日本史B 年間授業計画

教科：地理歴史 科目：日本史B 単位数：4単位

対象学年組：第3学年1、3、4、5、6、7、8組

教科担当者：

使用教科書：（詳説 日本史B 山川出版社）

使用教材：（詳説 日本史図録 第9版 山川出版社）

	指導内容	科目日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	授業ガイダンス  1. 近代国家の成立 ①開国と幕末の動乱  ②明治維新と富国強兵	授業の取り組み方を確認する。  開国による我が国の変化と、幕府の滅亡の推移について理解する。  新政府が欧米にならった諸政策によってどのように近代化をすすめたのかを理解する。	発問への解答や課題の提出、日常的な学習の成果、定期考査により、総合的な評価を行う。	16

指導内容	科目日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>③立件国家の成立と日清戦争</p> <p>定期考査</p> <p>5月 ④日露戦争と国際関係</p>	<p>自由民権運動の展開を踏まえながら、大日本帝国憲法が成立したのかを理解する。また、アジアや諸外国との関係の中で戦争が発生したことを理解する。</p> <p>日清戦争後の諸外国との関係と、日露戦争後の国際関係の変化について理解する。</p>	<p>発問への解答や課題の提出、日常的な学習の成果、定期考査により、総合的な評価を行う。</p>	<p>18</p>

指導内容	科目日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>⑤近代産業の発展</p> <p>⑥近代文化の発達</p> <p>6月 2. 2つの世界大戦とアジア ①第一次世界大戦と日本</p> <p>②ワシントン体制</p>	<p>殖産興業政策の進展によって、民間の力で産業が活性化したことを理解する。また、産業が発展する中で、社会問題が発生したことも理解する。</p> <p>学問の発展や教育制度の拡充に着目しながら、文学・科学・芸術が発展したことを理解する。</p> <p>第一次世界大戦の参戦によって、日本の国際社会における立場がどのように変化し、国内経済へどのような影響を与えたのかを理解する。</p> <p>第一次世界大戦後の国際秩序を、どのように確立したのかを理解する。また、社会運動と普通選挙法成立の過程を理解する。</p>	<p>発問への解答や課題の提出、日常的な学習の成果、定期考査により、総合的な評価を行う。</p>	<p>18</p>

	指導内容	科目日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	定期考査  ③市民生活の変容と大衆文化	明治文化からの変容を考察しながら、大衆文化が広がる背景を理解する。	発問への解答や課題の提出、 日常的な学習の成果、定期考査により、総合的な評価を行う。	18

8月	指導内容	科目日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

	指導内容	科目日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	<p>④恐慌の時代</p> <p>⑤軍部の台頭</p>	<p>第一次世界大戦後の好景気から、恐慌に転じた背景を理解し、政党政治にどのような影響を与えたのかを考察する。</p> <p>軍部が政治の実権を握っていく展開を理解し、国家体制の変容を考察する。</p>	<p>発問への解答や課題の提出、日常的な学習の成果、定期考査により、総合的な評価を行う。</p>	15

指導内容	科目日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>⑥第二次世界大戦</p> <p>定期考査</p> <p>10月</p> <p>3. 占領下の日本</p> <p>①占領と改革</p> <p>②冷戦の開始と講話</p>	<p>欧米諸国のさまざまな結びつきの中で第二次世界大戦が勃発したことを理解する。また、戦争が我が国の経済・社会に及ぼした影響を考察する。</p> <p>占領下における様々な政策の中で、民主化がどのように達成されたかを理解する。</p> <p>国際秩序が変化する中で、我が国がどのように主権を回復したのかを理解する。</p>	<p>発問への解答や課題の提出、日常的な学習の成果、定期考査により、総合的な評価を行う。</p>	<p>18</p>

	指導内容	科目日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	<p>4. 高度成長の時代</p> <p>① 55年体制</p> <p>② 経済復興から高度成長へ</p> <p>5. 激動する世界と日本</p> <p>① 経済大国への道</p> <p>② 冷戦の終結と日本社会の変容</p>	<p>冷戦構造の変容に着目しながら、我が国の保守政権が成立した背景を理解する。</p> <p>朝鮮戦争を契機とした経済活気の推移を、様々な産業の変化に着目しながら理解する。その中で発生した公害問題も考察する。</p> <p>国際経済体制が変化する中で、産業構造の転換や貿易摩擦の背景を理解する。</p> <p>科学技術の発達や生活意識や価値観の変化に着目して、国民生活の変化を理解する。</p>	<p>発問への解答や課題の提出、日常的な学習の成果、定期考査により、総合的な評価を行う。</p>	18



	指導内容	科目日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	定期考査  6. 受験準備①	総復習と、共通テスト試験の対策を行う。	発問への解答や課題の提出、 日常的な学習の成果、定期考 査により、総合的な評価を行 う。	15

	指導内容	科目日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	7. 受験準備②	総復習と、私立・国立試験の対策を行う。	発問への解答や課題の提出、日常的な学習の成果、定期考査により、総合的な評価を行う。	4

2月	指導内容	科目日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

	指導内容	科目日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月				